

授業科目名	自然環境と資源開発	単位数	2単位
担当教員名	三宅 一彦	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
【授業のテーマ】 自然環境の保全と持続可能な資源開発のバランスの取れたあり方 【到達目標】 (1) 国連総会で採択された持続可能な開発目標である「SDGs」が、どのように合意に至ったかについて理解すること。 (2) SDGsが、なぜ必要とされているのか、現在の地球環境問題についてグローバルな視点から理解し、その本質をとらえること。 (3) SDGsを達成するために私たちが取り組むべきことを模索すること。 (4) 自然環境の保全と持続可能な資源開発のバランスの取れたあり方について、未来に向けてどのような具体的な解決策を模索していくべきか検討するその契機を得ること。			
授業の概要			
2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標の「SDGs」が、どのようにして合意に至り、SDGsが必要とされている地球環境問題について、その現状と課題を理解し、その本質をとらえていく。そして、SDGsの達成を通して、グローバル・ローカル両視点から私たちが取り組むべきことを模索し、自然環境の保全と持続可能な資源開発のバランスの取れたあり方について、未来に向けたより具体的な解決策を考察する。			
授業計画			
第1回：SDGsの合意に至るまで 第2回：地球環境に関する国際社会での議論 第3回：持続可能な開発目標SDGsとは 第4回：「私」にとっての17の目標 第5回：地球全体で解決すべき問題とは 第6回：人口問題 第7回：高齢化社会・貧困 第8回：地球環境の限界 第9回：人類と地球の健康 第10回：地球温暖化「1.5℃の約束」 第11回：社会問題とSDGs 第12回：SDGsと日本の政策 第13回：すべてつながっているSDGsの17の目標 第14回：SDGsイシューマップ 第15回：未来に向けた自然環境と資源開発			
スクーリングでの学修			
●学修指導書の①～③のテーマから一つを選びまとめたレポートの内容とスクーリング時に設定した課題に基づきグループ討論等を実施 ●学修指導書の④～⑤のテーマについての説明と科目修得試験に向けた指針の提示			
テキスト			
吉川 幸（2023）『My SDGs』学術図書出版社、978-4-7806-1155-7			
参考書・参考資料等			
蟹江憲史（2020）『SDGs（持続可能な開発目標）』中央公論新社、978-4-12-102604-0 加藤三郎（2020）『危機の向こうの希望』プレジデント社、978-4-8334-2388-5 福嶋慶三、加納隆、井上和彦、下司聖作[編著]（2023）『SDGs時代に知っておくべき環境問題入門』関西学院大学出版会、978-4-86283-361-7			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			